

医学系研究実施のお知らせ

医学系研究「中学生への認知症サポーター養成講座の実施が、参加生徒の認知症の理解と認知症に関する活動に与える影響について」に関する研究実施のお知らせについて

福岡看護大学では、この度久山町の認知症事業の評価の一環として、中学生への認知症教育効果を明らかにする研究を行います。

このお知らせ文は、この研究の実施について皆様に知っていただき、研究内容を正しく理解していただくと同時に、対象者とその保護者の方が研究不参加を望まれる場合にはその意思表明をしていただくためのものです。保護者の方にもこの説明文を見せてください。

なお、この研究は福岡学園倫理審査委員会の承認と、研究機関の長（福岡学園理事長水田祥代）からの許可を受けています。この研究が許可されている期間は、2025年3月31日までです。

1. 研究の対象となる方の条件

2021年11月に久山中学校の一年生で「認知症サポーター養成講座」を受講され、講座前後と2か月後のアンケートに回答していただいた学生さん91名が対象です。ただし参加を希望されない方は研究対象から除外いたします。この研究において、ご自身のアンケートが利用されることを望まれない場合は、お手数ですが、下記相談窓口の担当者連絡先まで、ご一報ください。

2. 研究の目的や意義について

中学生に対する認知症サポーター養成講座のアンケート結果を分析し、認知症サポーター養成講座が、中学生の認知症に対する理解度や印象の変化、その後の認知症に関する活動に与える影響を明らかにすることで、中学生に対して認知症教育を行う意義を検証することを目的としています。

また、本研究を行うことは学術的意義があり、全国の中学生に認知症サポーター養成講座を含めた認知症教育を導入するためのエビデンスにつながると考えています。

3. 研究の方法について

この研究は、認知症サポーター養成講座の受講前と受講後、及び、講座受講2か月後のアンケート結果から得られたデータを集計し、分析を行うことによって、認知症サポーター養成講座が理解や活動に与える影響を明らかにします。アンケートで取得する情報は以下になります。

[取得する情報]

- ・ 性別
- ・ 認知症に対する理解度
- ・ 認知症の人とかかわった経験の有無
- ・ 認知症の人に対する印象
- ・ 認知症についての学習意欲
- ・ 認知症に関する活動への意欲や関心度
- ・ 講座を受けた感想
- ・ 講座を受けてこれから取り組みたいこと
- ・ 認知症に関する他者との会話の有無とその内容
- ・ 認知症に関する活動の有無とその内容
- ・ 認知症サポーターとしての活動意欲とその内容

4. 試料や情報の管理について

この研究において研究対象者から得られた電子データ情報は、研究終了後、福岡看護大学看護学部看護学科地域・在宅看護部門において同分野教授の角森輝美の責任の下、10年間保存した後、研究用の番号等を消去し、廃棄します。

5. 研究に関する情報や個人情報の開示について

この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の研究計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。資料の閲覧を希望される方は、ご連絡ください。

6. 研究の実施体制について

研究実施場所 (分野名等)	学校法人 福岡学園 福岡看護大学大学院看護学研究科
研究責任者	福岡看護大学看護学部看護学科 地域・在宅看護部門 教授 角森 輝美
研究実施者	福岡看護大学大学院看護学研究科 大学院生 松鳥 真理 福岡看護大学看護学部看護学科 地域・在宅看護部門 教授 角森 輝美 福岡看護大学看護学部看護学科 地域・在宅看護部門 准教授 吉田 大悟 福岡看護大学看護学部看護学科 地域・在宅看護部門 教授 宮園 真美

7. 相談窓口について

この研究に関してご質問や相談等ある場合は、下記担当者までご連絡ください。

事務局 (相談窓口)	福岡看護大学大学院看護学研究科 大学院生 松鳥 真理 連絡先：〔TEL〕 092-801-0411 (内線 3763) 〔FAX〕 092-801-0412 メールアドレス：nm8221005@student.fdcnet.ac.jp
---------------	--

(作成日：2022年1月28日 最終修正日：2月14日)